

平成29年度 第3回 長浜市総合教育会議 次第

日時：平成30年1月12日（金）13時30分

場所：長浜市役所 3階 特別会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

テーマ

「就学前教育の取組について」

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

- ・ 資料1 長浜市の就学前教育カリキュラムと保育実践について
- ・ 資料2 長浜市運動あそびについて
- ・ 資料3 就学前教育にかかる人材確保の現状と課題
- ・ 資料4 子ども・子育て支援事業（乳幼児教育・保育）について

平成29年度 第3回 長浜市総合教育会議 出席者名簿

1 構成員

役 職	氏 名
市 長	藤 井 勇 治
教 育 長	北 川 貢 造
教 育 委 員	井 関 真 弓
教 育 委 員	西 橋 義 仁
教 育 委 員	川 口 直
教 育 委 員	西 前 智 子
教 育 委 員	廣 田 光 前

2 オブザーバー

役 職	氏 名
副 市 長	大 塚 義 之

3 事務局

所 属 ・ 役 職	氏 名
教育部長	改 田 文 洋
教育委員会事務局次長	横 尾 博 邦
教育委員会事務局次長兼教育総務課長	中 川 京 之
教育改革推進室長	土 田 康 巳
教育指導課長	清 水 伊 佐 雄
すこやか教育推進課長	宮 川 尚 久
幼児課長	堀 浩 次
教育総務課課長代理	今 井 健 剛
幼児課課長代理	上 崎 順 子
幼児課主幹	西 嶋 志 津 佳
教育総務課主査	大 石 文 哉
幼児課主査	上 田 加 奈 子
総合政策部長	北 川 雅 英
総合政策部次長兼総合政策課長	米 田 裕 治
総合政策課課長代理	野 村 和 博
総合政策課主査	小 川 敦

長浜市の就学前教育カリキュラムと 保育実践について



長浜市就学前教育カリキュラムの構造図

【長浜子育て憲章 ～めざす子ども像～】

- 夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 思いやりのある心のやさしい子
- ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

【就学前教育目標】

健やかで心豊かな子ども

～生きる力の基礎を身に付けた子どもの育成～

【就学前教育 ～めざす子ども像～】

- ◆身近な自然や事象に興味や関心をもち、自分で考え、意欲的に学ぼうとする子ども
- ◆思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやり遂げようとする子ども
- ◆健やかな心と体を持ち、自分でできることは自分でしようとする子ども

意欲

興味・関心

生きる力

自信

自尊感情

まなびの力

かかわりの力

思考

創造

言葉

信頼

規範

協同

生きる力の基礎
【体・徳・知】

生活

運動

からだの力

安心・安定

保育の重点

健康に生活する

進んで体を動かす

自ら学ぼうとする

仲間と共に育ち合う

感じる心を表現する

伝え合う（聞く・話す）

【保育者の視点 ～指導において重視する点～】

- 1：生命の保持と情緒の安定
- 2：主体的な活動・協同的な遊び
- 3：計画性・柔軟性のある環境・援助
- 4：地域資源の活用

園児・児童の交流

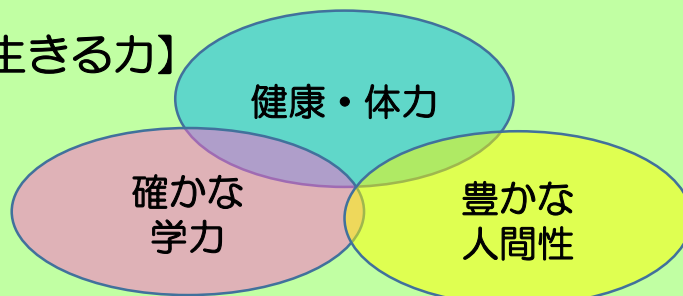
職員の連携及び資質向上

地域・家庭との連携

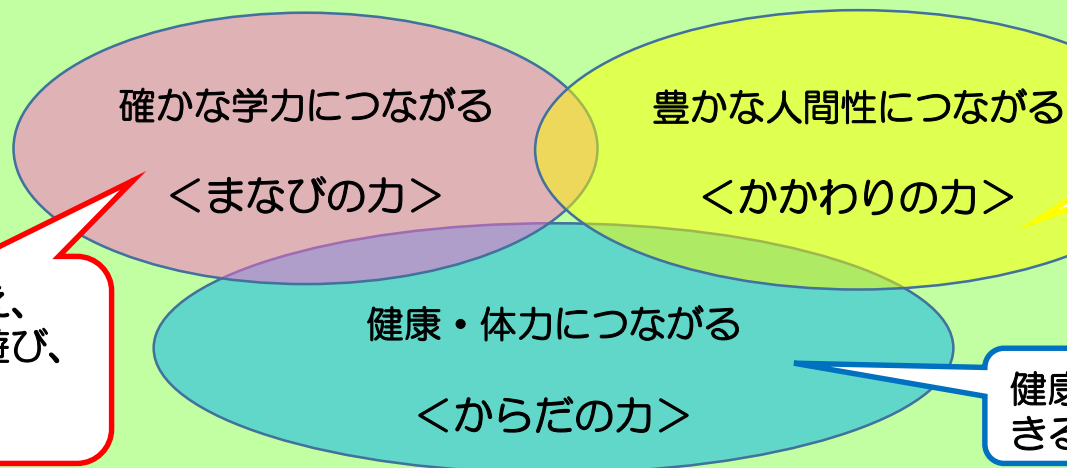
1:長浜市就学前教育カリキュラムについて

< 1 > 乳幼児期に育てたい生きる力の基礎

小学校学習指導要領【生きる力】



就学前教育【生きる力の基礎】



自分で考え、
意欲的に遊び、
学べる力

相手の思いや状
況が分かり、楽
しく活動し、協
力できる力

健康な心と体で生活で
きる力

<2> 乳幼児期の発達に応じて経験させたい内容の視点

生きる力の基礎「3つの力」と「8つの視点」

まなびの力

- ①思考…… 【興味】【関心】【好奇心】【探究心】
- ②言葉…… 【話す】【聞く】【伝え合う】【言葉に関する感覚】
- ③創造…… 【感性】【想像】【イメージ】【素材や表現方法との出会い】

かかわりの力

- ④協同…… 【自立】【共感】【自己理解】【他者理解】【ルール】
- ⑤信頼…… 【自己表出】【受容】【自信】【思いやり】【自己有用感】
- ⑥規範…… 【善悪への気付き】【調整】【きまり】【生命への気付き】

からだの力

- ⑦生活…… 【安定】【生活習慣】【健康】【食育】【安全】
- ⑧運動…… 【機能】【体力】【挑戦】【競争】【心地よさ】

保育の重点

【保育の実践において重視する内容】

1：健康に生活する

4：仲間と共に育ち合う

2：進んで体を動かす

5：感じる心を表現する

3：自ら学ぼうとする

6：伝え合う
(聞く・話す)

学びの連続性を踏まえ、**小学校以降へのつながりを重視**する視点から、**就学前の時期に特に取り組みたい内容**

【国の動き】

平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省

幼稚園教育要領

保育所保育指針

- 環境を通して行う
 - 生きる力の基礎を育むため、資質・能力を一体的に育む
 - 「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」
 - 「学びに向かう力、人間性等」
 - 「幼児期のおわりまでに育ってほしい姿」を明確にする
 - 「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」
 - 「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」
 - 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」
 - 「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」
 - 小学校教育との接続をより円滑にする
- 等

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

2:長浜市就学前教育における保育について

就学前教育 ⇒ 遊びは学び。遊びを通して学ぶ。
環境を通した教育。

<5歳児 11月 お店屋さんごっこ>



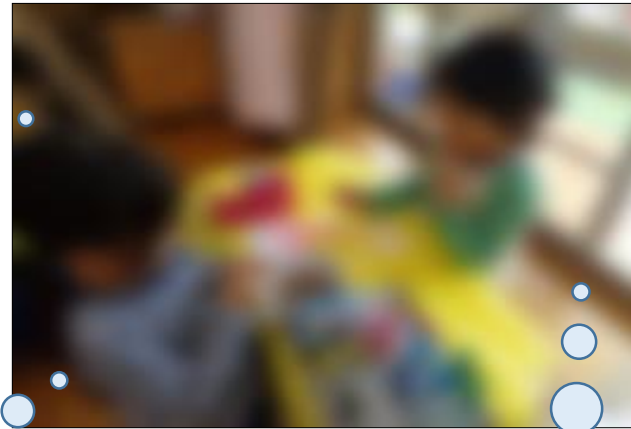


ことば・コミュニケーション

お客さんに来てほしいな。
いらっしゃいませ～。
どれにしますか？

仲間意識・協同

一緒にお店屋さん、
楽しいな。



役割

目的・選択・表現

どれを使おうかな。
丸いのがいいかな。

僕は、〇〇を作るね。

お客さん来ないね。
迷子かな？

思考・文字・記号



大小・数・量・価値(お金)

これは、100円。
でもこっちは大きい、こっちは
小さい。いろんな大きさがあるなあ。



遊びの中で育つ力

ことば 思考 表現 文字 記号
数量大小 選択 価値（お金）

まなびの力

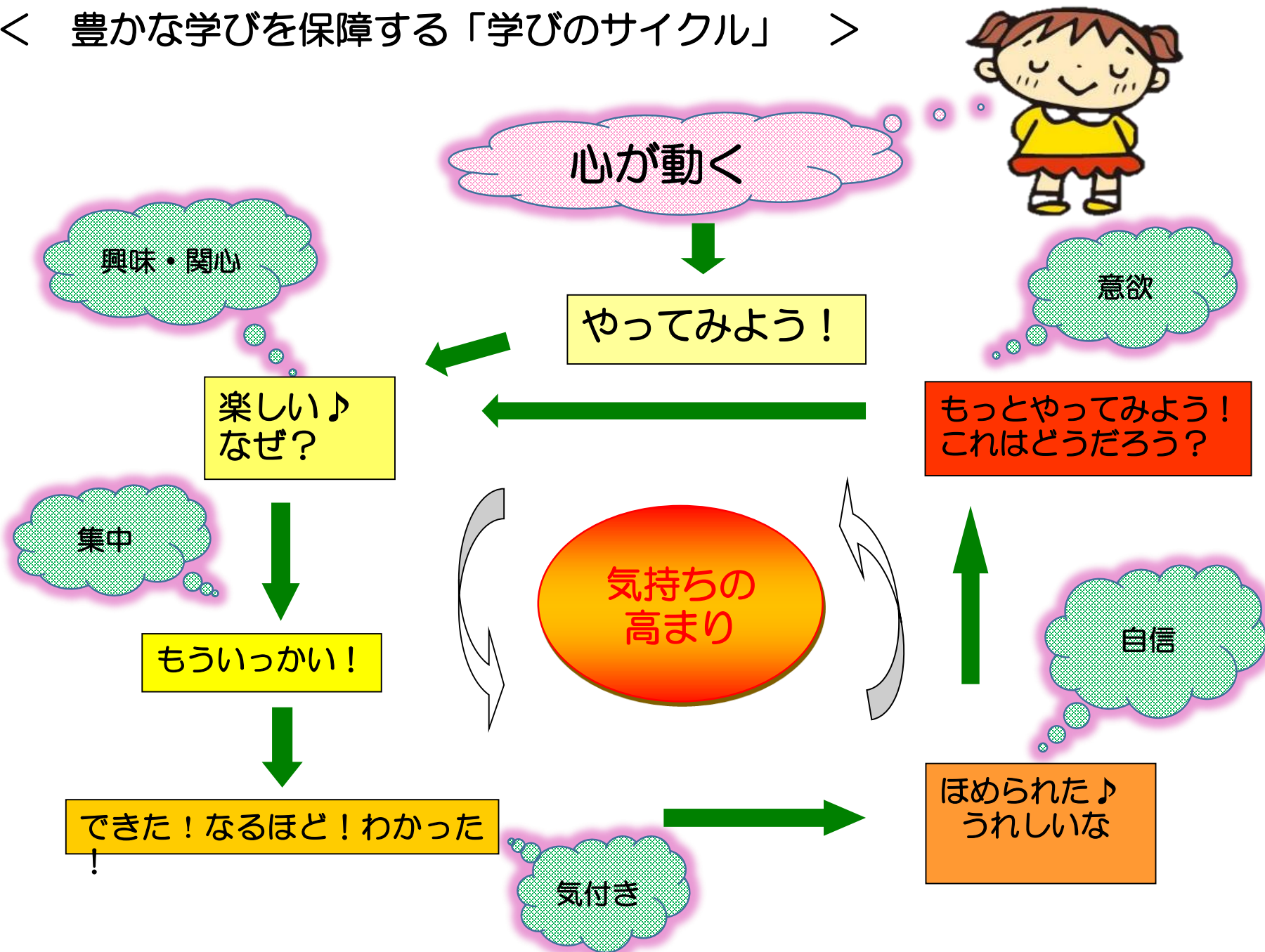
コミュニケーション
仲間意識（相手への意識）
役割 約束 協同（目的意識）

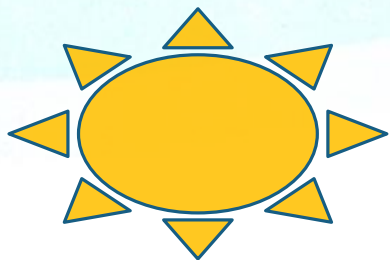
かかわりの力

手指操作（微細運動）

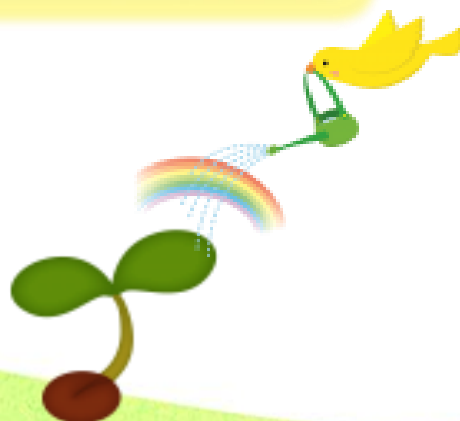
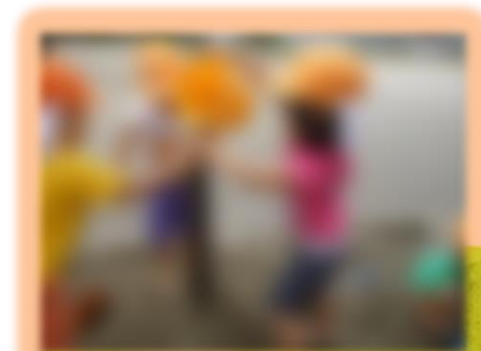
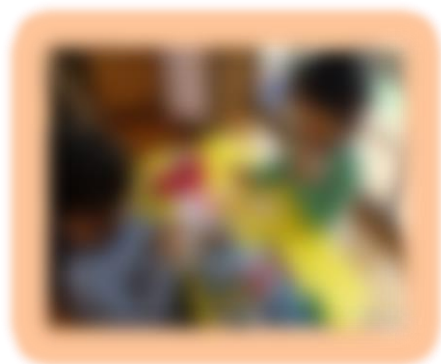
からだの力

< 豊かな学びを保障する「学びのサイクル」 >





☆～健やかで心豊かな子どもに
育つことを願って～☆



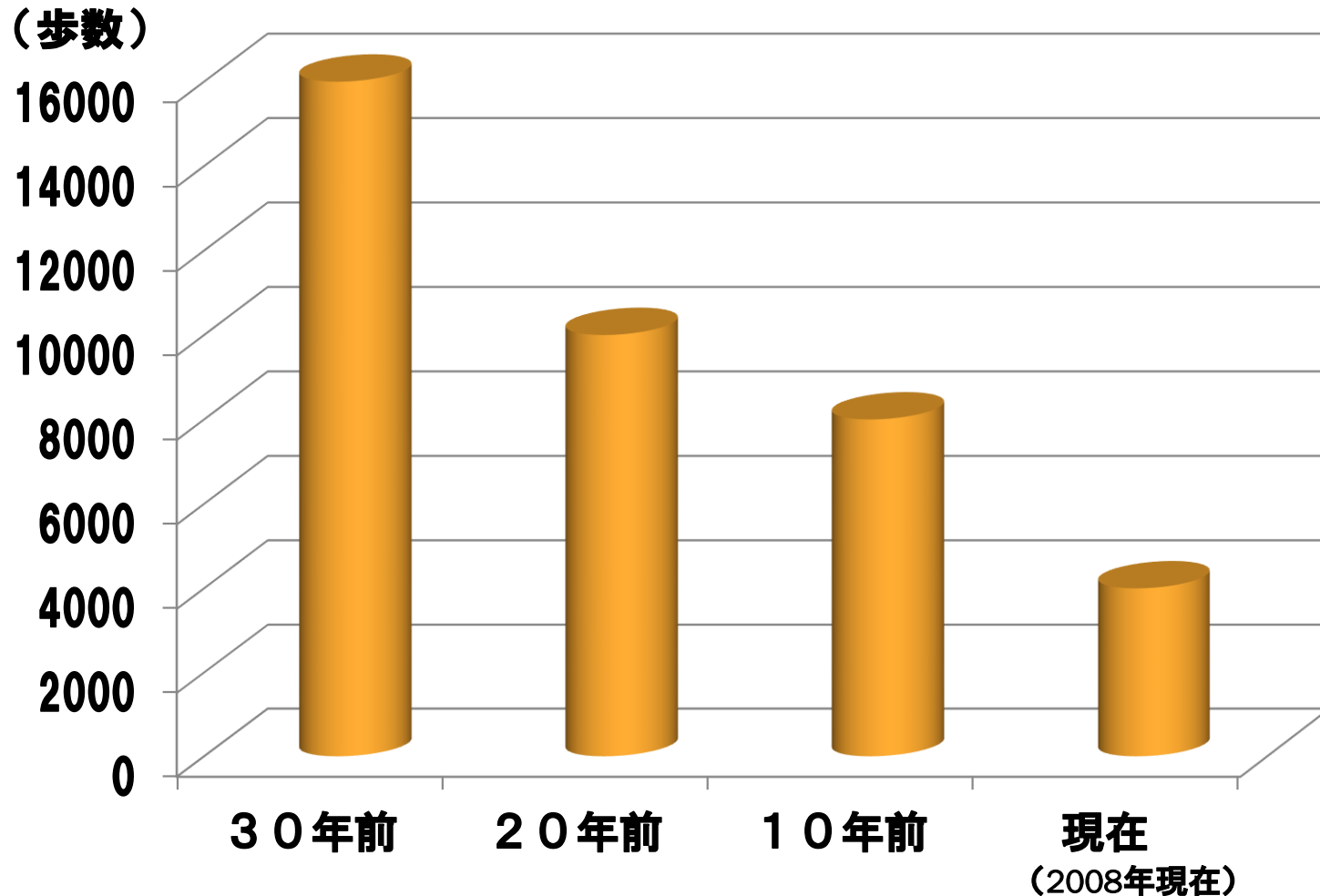
長浜市運動あそびについて

長浜市教育委員会事務局幼児課

説明内容

- ①運動支援が必要な理由と運動あそびの効果
- ②長浜市における運動あそびについて
 - 1. 「運動あそびプログラム」による運動あそび
 - 2. 子どもが主体的に取り組む運動あそび
- ③今後の取り組み

保育園児の1日の歩数の変化



【柳澤秋孝氏の資料より】

子どもを取り巻く 30年前と現在の違い

30年前の環境

戸外(動的な遊び)



群れ<鬼ごっこ>



動ける体

現在の環境

室内(静的な遊び)



個人<テレビゲーム>



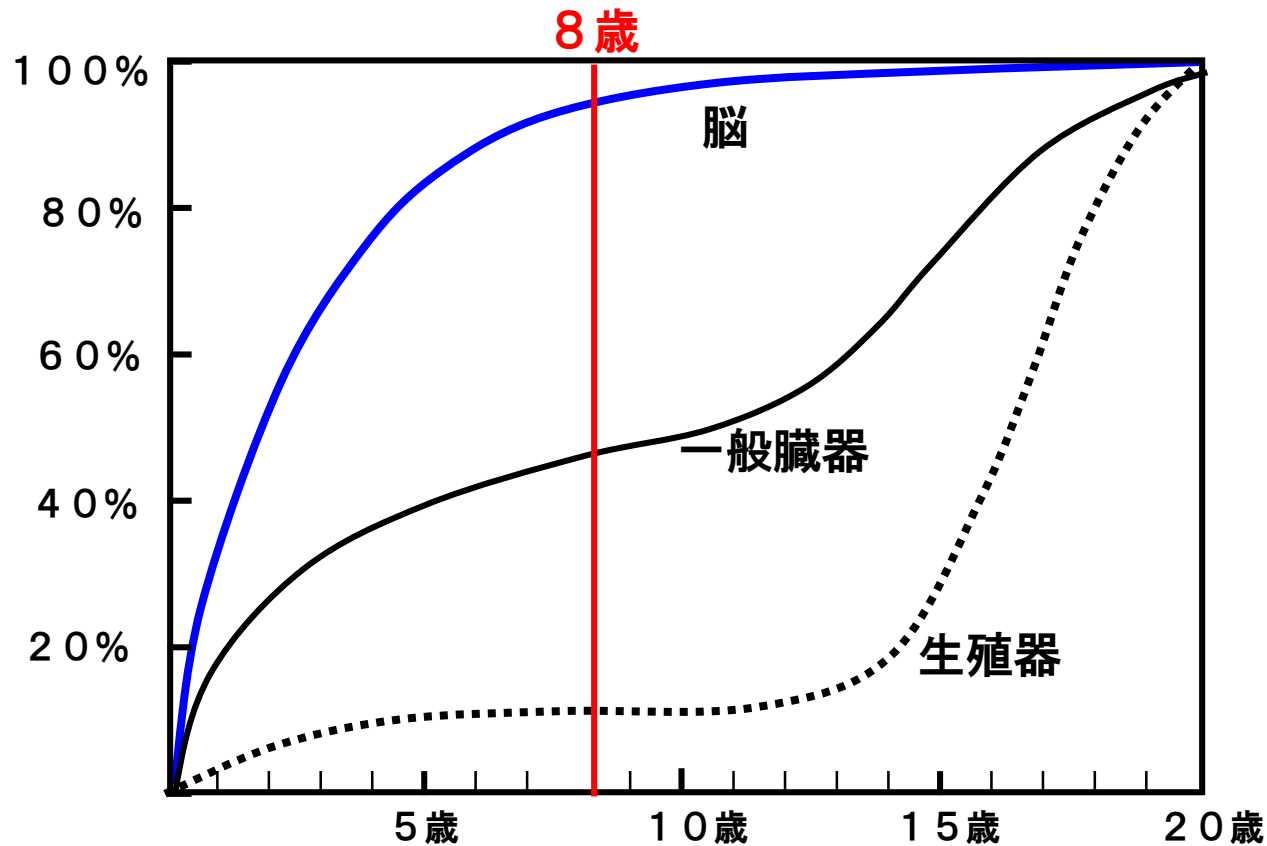
動けない体

体の成長について

- 0歳～3歳 脚力発達期(下半身の成長期)
- | | | |
|-----------|---|---------|
| 0～1歳 「立つ」 | } | 運動能力の基礎 |
| 1～2歳 「歩く」 | | |
| 2～3歳 「走る」 | | |
- 3歳～6歳 胸郭発達期(上半身の成長期)
おへそから上、胸をとりまく部分
- 6歳～10歳 全身的発達期
上半身と下半身の連動

脳の成長について

脳の成長は早く、**8歳で90%に！**



【スカモンの発達曲線より】

「運動」と「脳」「こころ」の関係

人間の脳は**前頭葉**、**側頭葉**、**後頭葉**、**頭頂葉**の大きく4つに分けられています。

『**前頭葉**』の中に...

- ・運動をコントロールする【**運動野**】
(神経を通じて筋肉に指令を出す場所)
- ・感情をコントロールする【**前頭前野**】
(人間が人間らしく生きていくために最も必要な場所)



抑制力

判断力

注意力

長浜市における運動あそび

運動あそびの目的

運動あそびを通して意欲と自信を高めるなかで、体を動かすことが大好きになり、動ける「体」をつくとともに、人とうまくかかわれる「心」を育成する。

【子どもに身に付けたい力】

- 楽しい遊びの中での成功体験の積み重ねにより、運動への苦手意識を減らし、**運動する意欲や自信**を高める。
- 発達に合わせた体系的な運動をすることで、**その時期にしか身に付けることのできない基礎的な運動能力や体力**を培う。
- 体を動かすことで脳を活性化させ、**感情をコントロールする力(抑制力、判断力、注意力など)**を養う。
- 友達と共に体を動かして遊ぶことで、**コミュニケーション力**を養う。

運動あそびの2本柱

1. 「運動あそびプログラム」による運動あそび

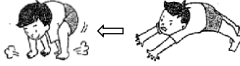
長浜市の「運動あそびプログラム」に基づき、毎日5～10分継続し、各年齢・発達に即して体系的に進めていく運動あそび

2. 子どもが主体的に取り組む運動あそび

保育に運動的な要素を取り入れ、子どもが主体的に楽しく体を動かすことができるように 展開していく運動あそび

1.「運動あそびプログラム」による運動あそび

運動あそびプログラム

< 5 歳児 I 期 4 月～5 月 >	
側転	◎くま歩き 【支持力】  ◎新幹線くま 【支持力・バランス感覚】  ◎片足くま 【支持力・バランス感覚】 
	・手をバーに開いて床につき、お尻を上げて、前を向いて進む。 ☆手をバーに開くことで、体重が支えやすくなる。 ・くまの姿勢を崩さず、スピードアップをして進む。 ☆十分に支持力がついていないと、バランスを崩し、顔を打つことがあるので気を付ける。 ・くまの姿勢で片足を上げ、顔を前に向けて、手を交互について進む。 ☆最初から足を高く上げると転んでしまう。足は高く上げなくてよいので、手のひら全体を床につけて 3 本の手足で進むことを大切に。
縄跳び	◎忍者カンガルージャンプ 【跳躍力】  ◎ケンケン跳び 【バランス感覚・跳躍力】  ◎ケンバ跳び 【跳躍力・空間認知力】 
	・足をそろえて、つま先で立ち、静かにカンガルージャンプをする。 ☆膝の曲げ伸ばしすることで、静かなジャンプができるようにする。 ☆足裏全体ではなく、かかとを上げ、つま先で跳ぶことも意識する。 ・片足でリズムカルに跳ぶ。 ☆利き足だけでなく、反対の足も行うとよい。 ☆その場で跳ぶことに慣れてきたら、前や左右にも動いてみる。 ・フープが 1 つのところは片足で着地し、2 つのところは両足で着地する。 ☆リズムにのって進めるとよい。「ケンケンバ」「ケンパーパー」など、フープの並べ方を変えてケンバに変化をつけるるとよい。
跳び箱	◎うしがえる 【支持力・跳躍力】  ◎小さいかえる乗り(1～2段) 【支持力・跳躍力・空間認知力】 
	・かえるの姿勢から体を伸ばして両手を前方につき、手をついたまま床を蹴って足を腕に引きつける。 ☆手をついたところよりも前に足を着地させる。 ☆一瞬だが、腕に全体重がかかるので、肘を曲げないようにして支える。 ☆支持力が不十分だと、前に倒れ込むことがあるので気を付ける。 ・両手をそろえて、跳び箱の前方につく。 ☆手は離さずにつま先でジャンプし、腰を高く上げたらずに足を開く。 ☆手をついたまま、膝を曲げて腰を落とし、跳び箱の上に乗る。手より外側に足をつく。 ☆手や足をつく位置に印をつけておき、分かりやすくするとよい。
鉄棒	◎わねに歩き(両手同時つき) 【懸垂力】  ◎りんご 【懸垂力】  ◎つま先あひる歩き 【バランス感覚】 
	・両足は伸ばしたまま、腕をバンザイのように伸ばして床について進む。 ☆手はバーで床につけて体をひきよせるようにする。 ☆腕の力だけで進むのが難しい場合は、多少足を使ってよい。 ・鉄棒を逆手で握り、腕を曲げてぶら下がる。 ☆膝をくっつけて曲げることで足を持ち上げ、体を丸める。 ☆脇のりを塗ってくっつけるイメージで脇を締めるように伝えるとよい。 ☆鉄棒にあごをかけないようにする。 ・しゃがんで足を大きく開き、かかとを浮かしてつま先で歩く。 ☆背筋を伸ばして歩くことで体幹の筋力がアップしたり、つま先で歩くことで足の親指で踏ん張る力を身に付けたりすることができる。

体系的に遊びを進めることで、知らず知らずのうちに体の力が身に付く。

動物のまねっこが多く、模倣しやすい。

「できる」「できない」がわかりやすい。

1.「運動あそびプログラム」による運動あそび

【内容】

- ・側転
- ・短縄の連続跳び
- ・跳び箱の開脚跳び越し
- ・鉄棒の逆上がり

「できる」「できない」が
はっきりわかる遊び

できたことで・・・

自信



意欲

「たのしい！！」「好き！！」

1.「運動あそびプログラム」による運動あそび

【3つの基礎の力】

支持力



くま歩き

跳躍力

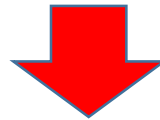


カンガルージャンプ

懸垂力



わに歩き

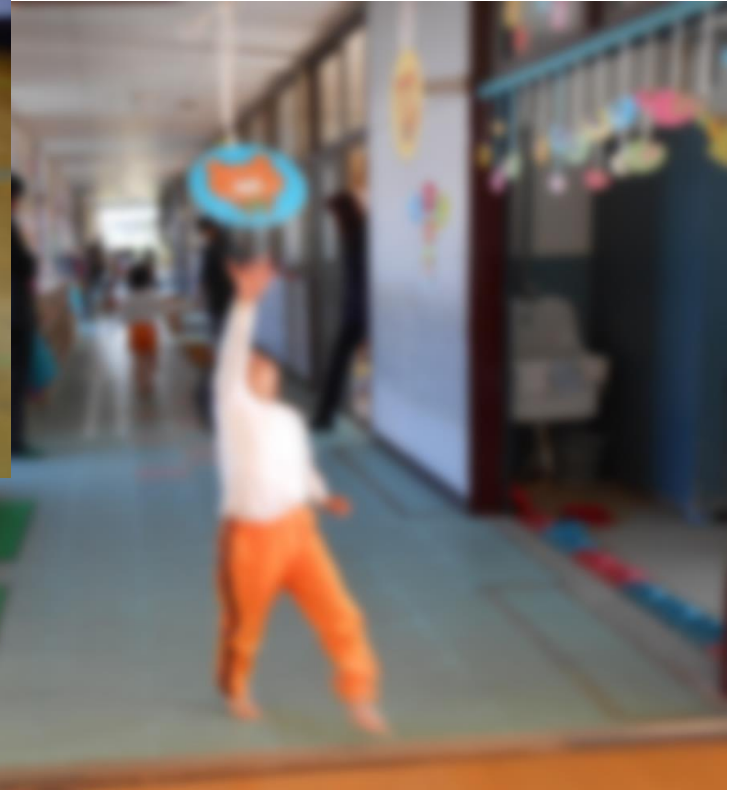


楽しみながら 日常ではあまり使うことのない筋肉を動かし、
基礎的な力を身に付けていく

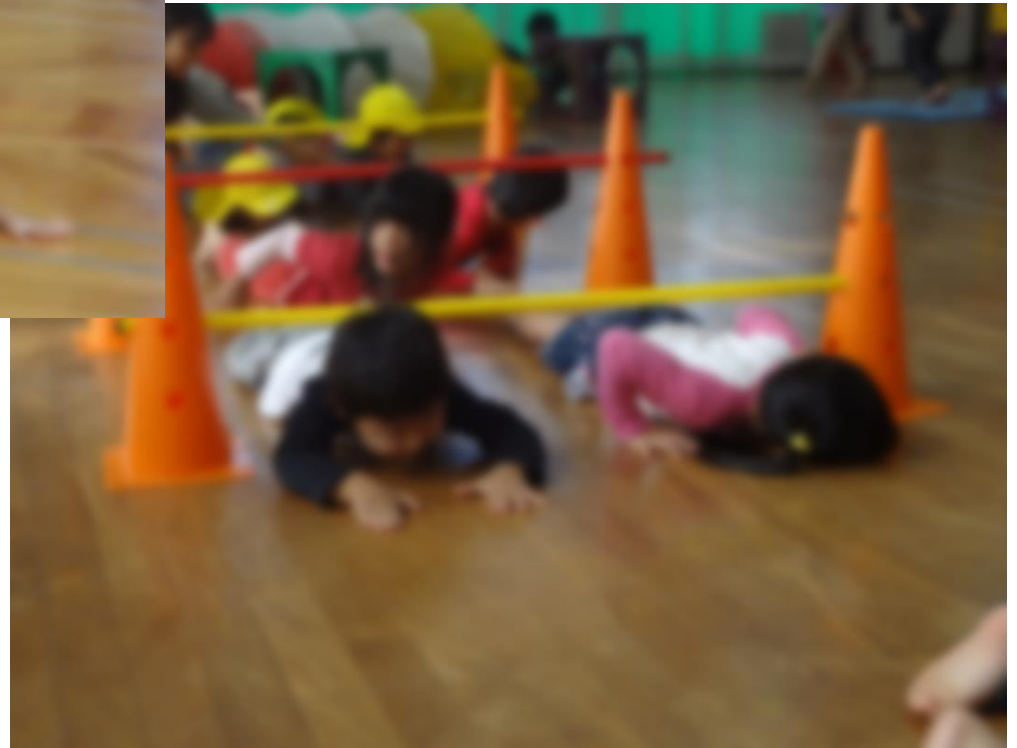
支持力(くま歩き)



跳躍力（カンガルージャンプ）



懸垂力(わに歩き)



回転感覚など



2. 子どもが主体的に取り組む運動あそび

運動的な要素を取り入れた遊び

運動あそびプログラム 運動遊具を使った遊び



おいかけっこ



まねっこ遊び



ごっこ遊び



保育者の
意図性



子どもの考えが含
まれているかな？
主体性が引き出せ
ているかな？

子どもの
主体性

②長浜市における運動あそびについて



保育者の願い・意図・環境構成

この力をつ
けてほしい
な。

こんな経験
をしてほし
いな。



楽しく主体的にからだを
動かす



子どもの思い・意欲

もう一回
やってみよ
う！

友だちと
一緒だと
楽しい！

△△を
使ってみよ
う！

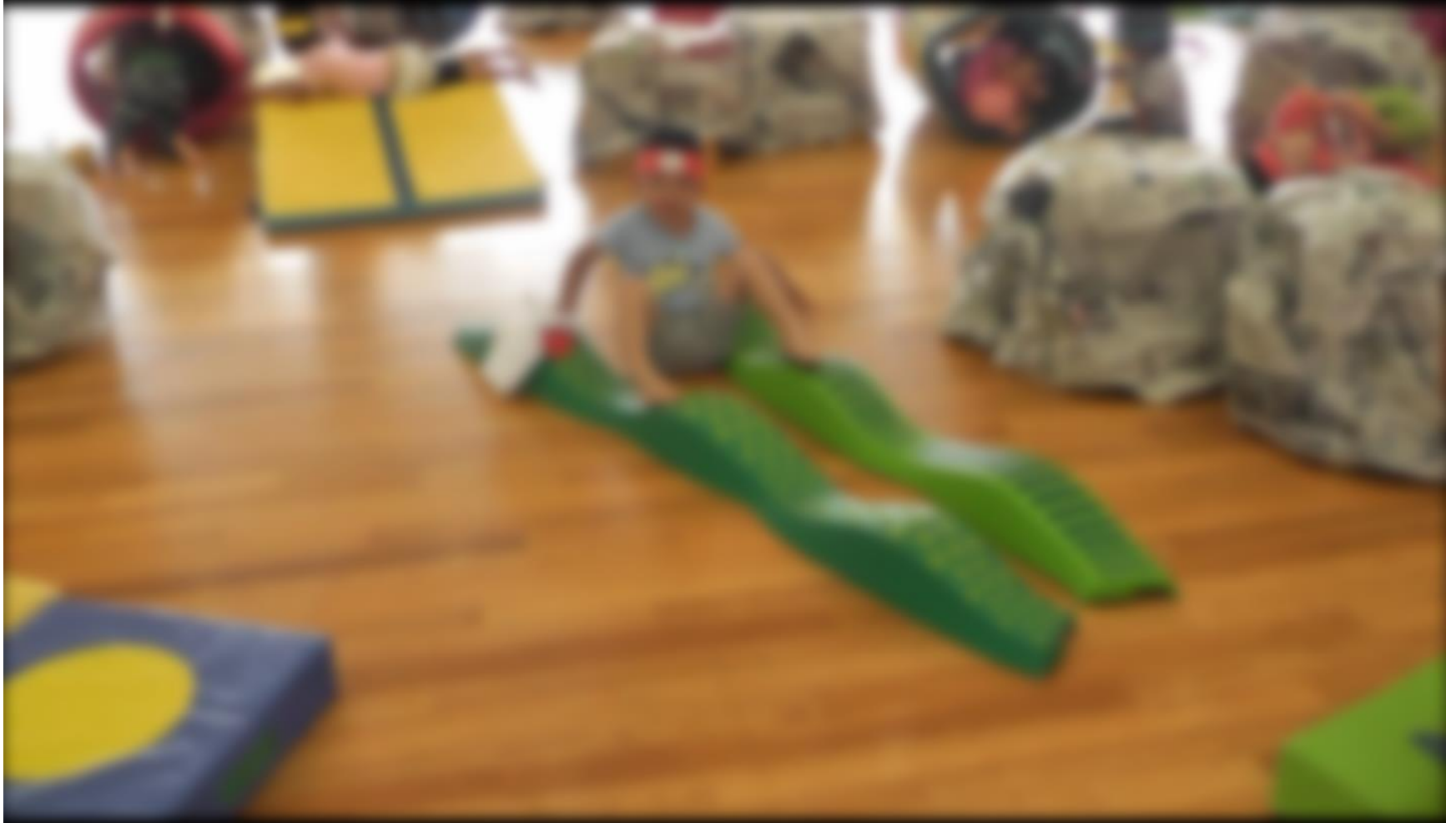
〇〇して
みたらどう
なるだろ
う？



だんごむしごっこ 「遊び場をつくろう！」



だんごむしごっこ 「いろんな道で遊ぼう」

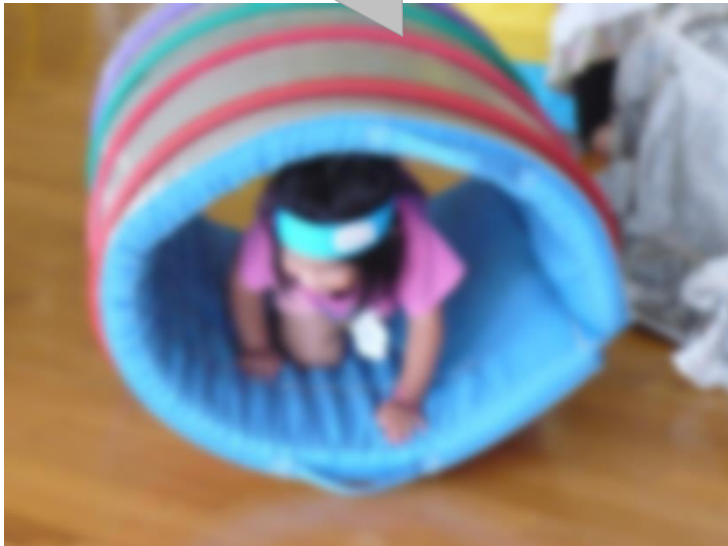


②長浜市における運動あそびについて



一緒に坂道を
ころころ～！
＝回転感覚
協調性

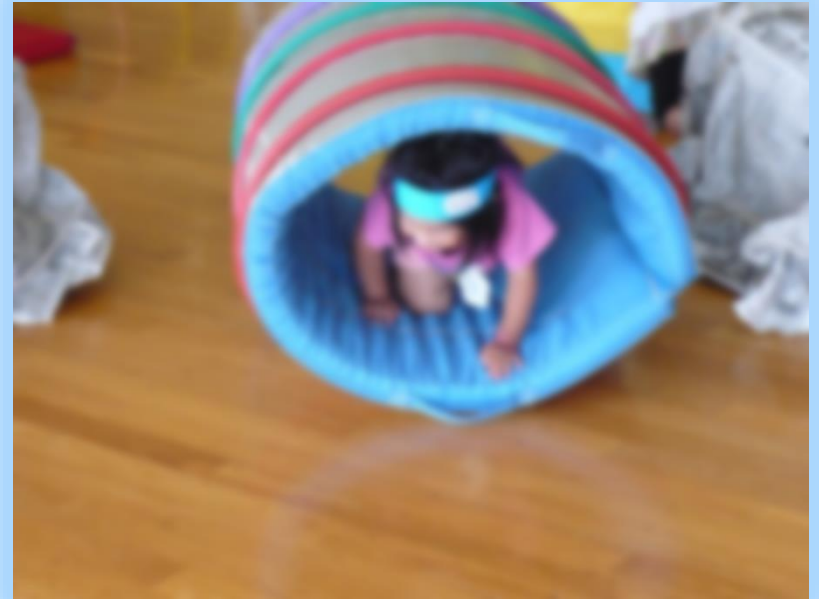
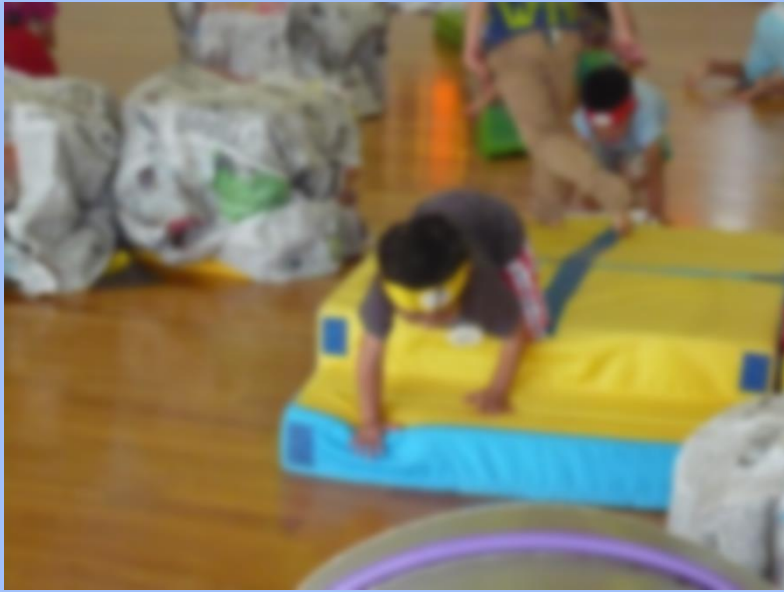
トンネルを
通って行こう！
＝支持力
空間認知力



一本道に
挑戦！
＝支持力
バランス感覚



②長浜市における運動あそびについて



保育者の
意図性

楽しく主体的にからだを
動かす

子どもの
主体性

②長浜市における運動あそびについて



遊具に挑戦



おいかけっこ



プール遊び



運動あそび推進事業にかかる『5つのプロジェクト』

1. 運動あそびプログラムの開発と推進
2. 指導者の育成
3. 小学校との連携
4. 運動あそびの普及および啓発
5. 運動あそびにおける効果の検証

運動能力調査

【調査の目的】

幼児の運動能力の現状を明らかにし、今後の子どもの健康・体力づくりに向けた取組の基礎資料とするとともに、各園において運動遊び促進のための具体的資料とする。

【実施機関】

滋賀県教育委員会事務局保健体育課

【調査対象】

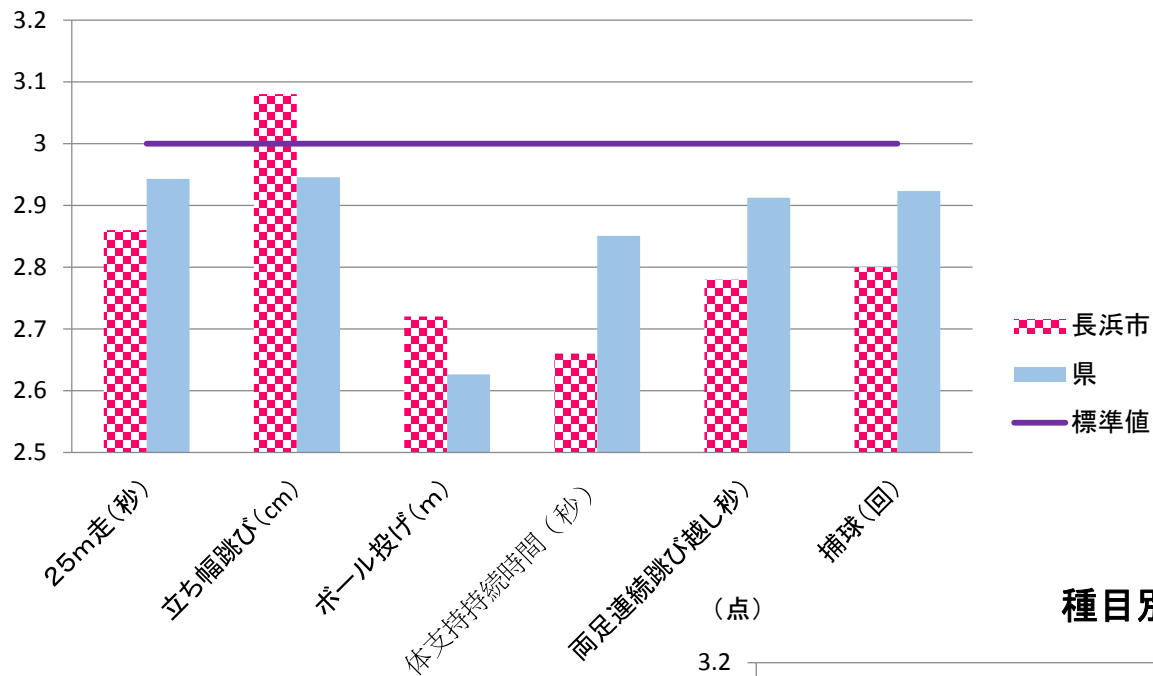
4歳児、5歳児の幼児

【調査内容】

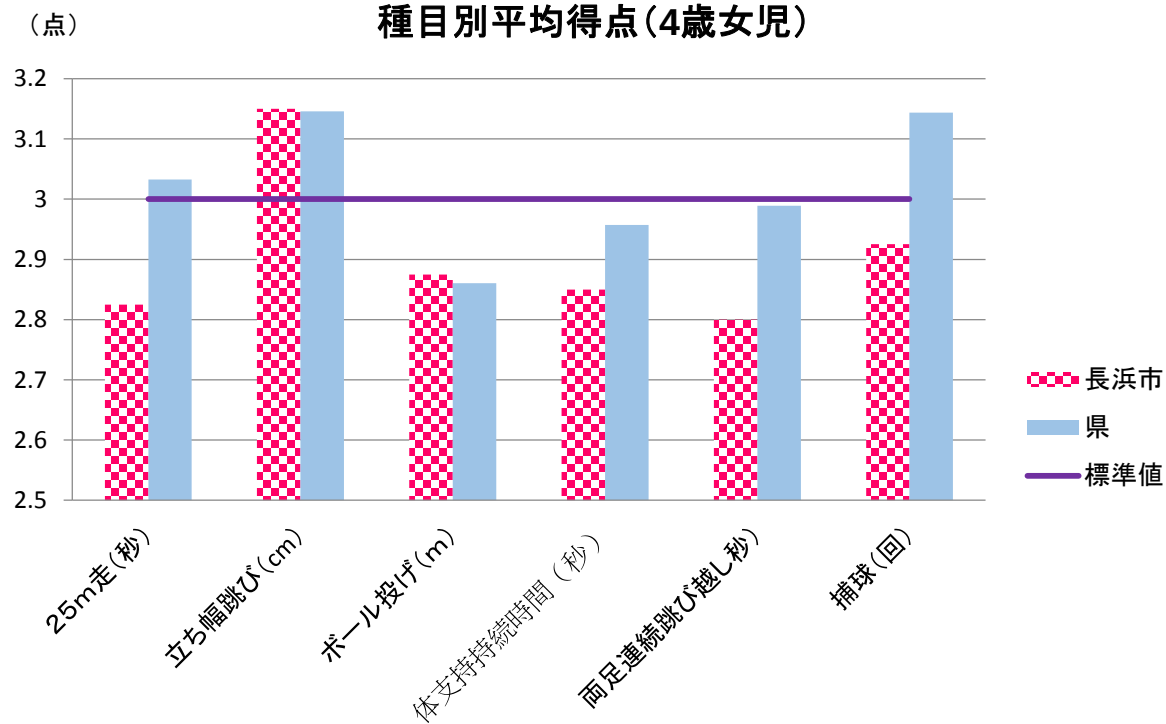
- ・25m走
- ・立ち幅跳び
- ・ボール投げ
- ・体支持持続時間
- ・両足連続跳び越し
- ・捕球

(点)

種目別平均得点(4歳男児)

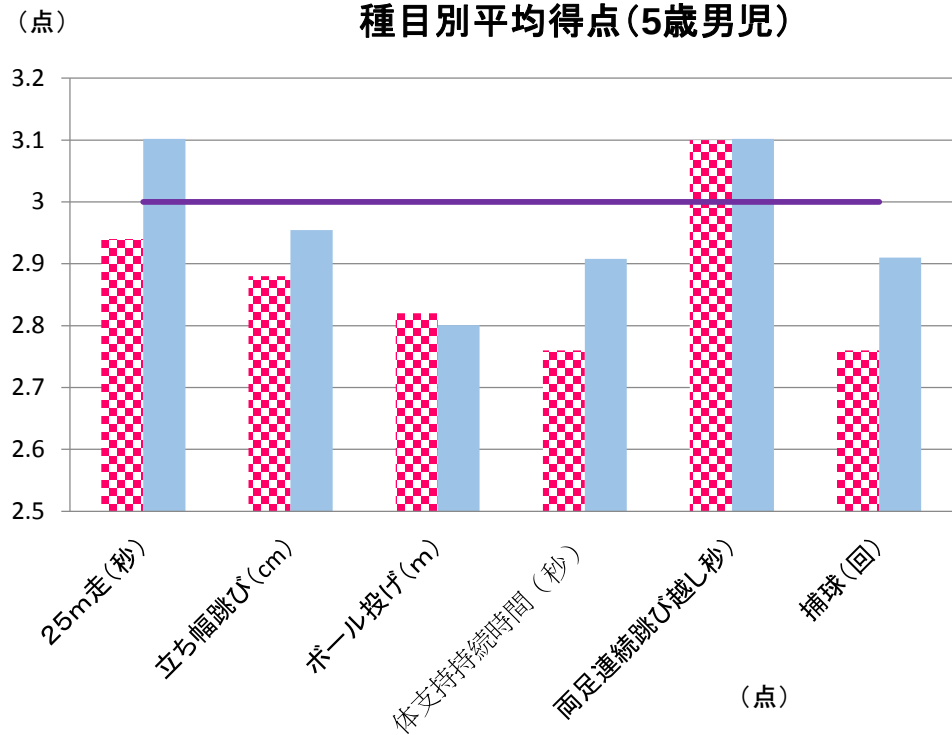


種目別平均得点(4歳女児)

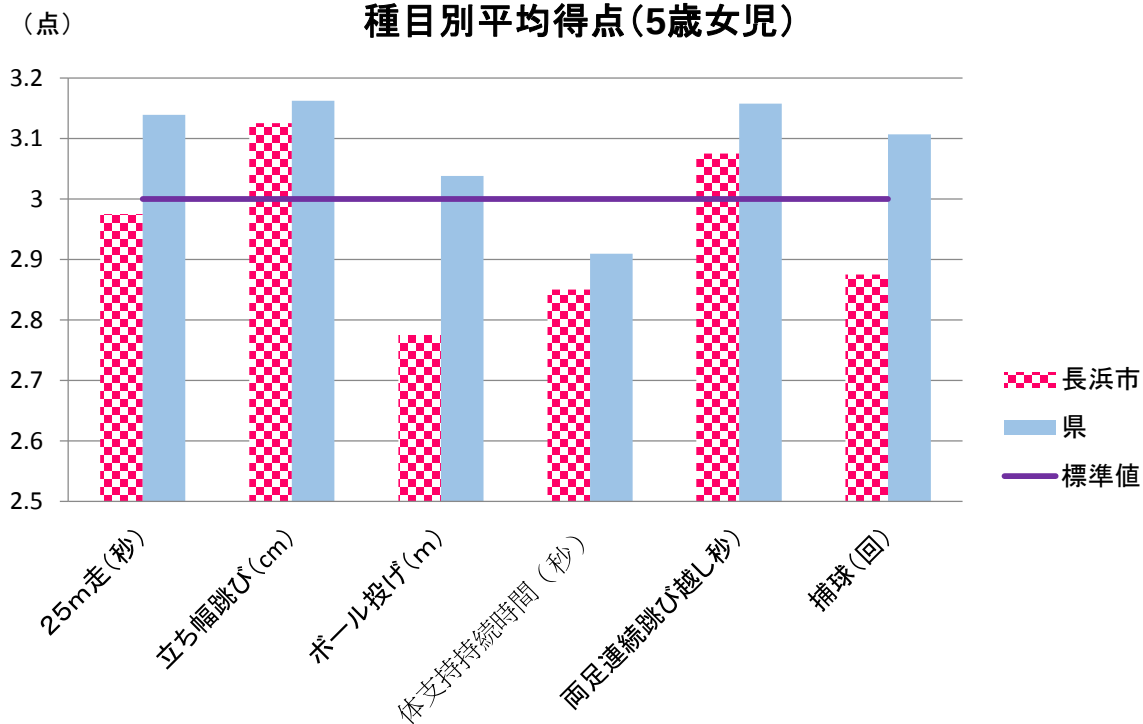


平成28年度 調査結果

種目別平均得点(5歳男児)



種目別平均得点(5歳女児)



平成28年度 調査結果

就学前教育にかかる人材確保の現状と課題

■はじめに

「長浜市就学前教育カリキュラム」の策定・運動あそびプログラムの策定

教育施設・保育施設を一元化



幼児期における質の高い保育・教育の実践

待機児童の解消



保育士の確保が喫緊の課題

■保育士人材確保の現状と課題について

保育士不足

H27～H29 長浜市立園所 教諭・保育士等数の推移

	H27	H28	H29
正規定数	277	294	303
正規配置数	237	234	237
正規の欠員数	40	60	66
正規・臨時・パート 必要数	557	578	570
正規・臨時・パート 配置数	548	541	525
総欠員数(市基準加配における)	9	37	45

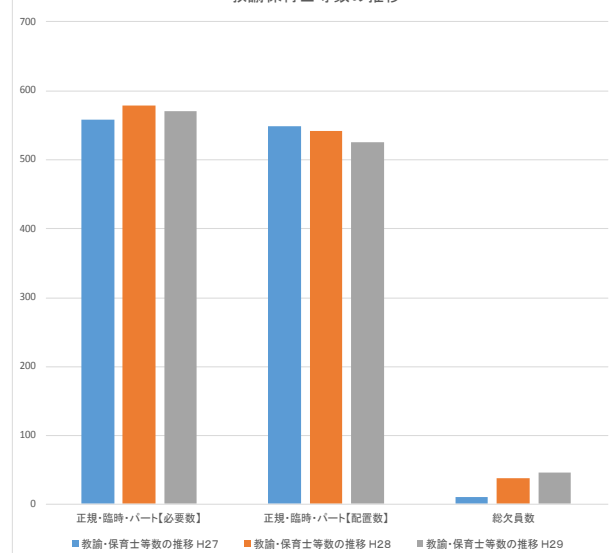
「潜在保育士」が全国で約16万人

資格を有しながら
保育士としての勤務を
希望しない

理由は？

- ・賃金が希望と合わない
- ・休暇が少ない、休暇が取りにくい
- ・責任の重さ、事故への不安
- ・就業時間が希望と合わない

教諭保育士等数の推移



■ 保育士人材確保の方策について

- ・ 処遇改善や勤務環境の改善に取り組む
- ・ 事故や保護者対応など、サポート体制の充実
- ・ 行政と大学が連携したキャリア支援
- ・ 職場体験、保育実習の充実

■ 本市の取り組み

- ☆ 副園長・看護師・養護教諭・事務職・用務員等専門職の配置等
保育士業務負担の軽減
- ☆ 採用試験 採用枠の拡大・正規率の向上
- ☆ 長浜市保育士等奨学金返還支援事業等人材確保対策の促進

正規職員給与(初任者)

	長浜市行政職	長浜市幼児教育職	滋賀県公立教員
大学卒	184,800円	187,100円	233,355円
短大卒	161,700円	171,000円	207,900円

長浜市臨時職員・非常勤職員(賞与なし)

	幼児教育	小中学校職
月額	183,500円～	
時給	900円	2,000円

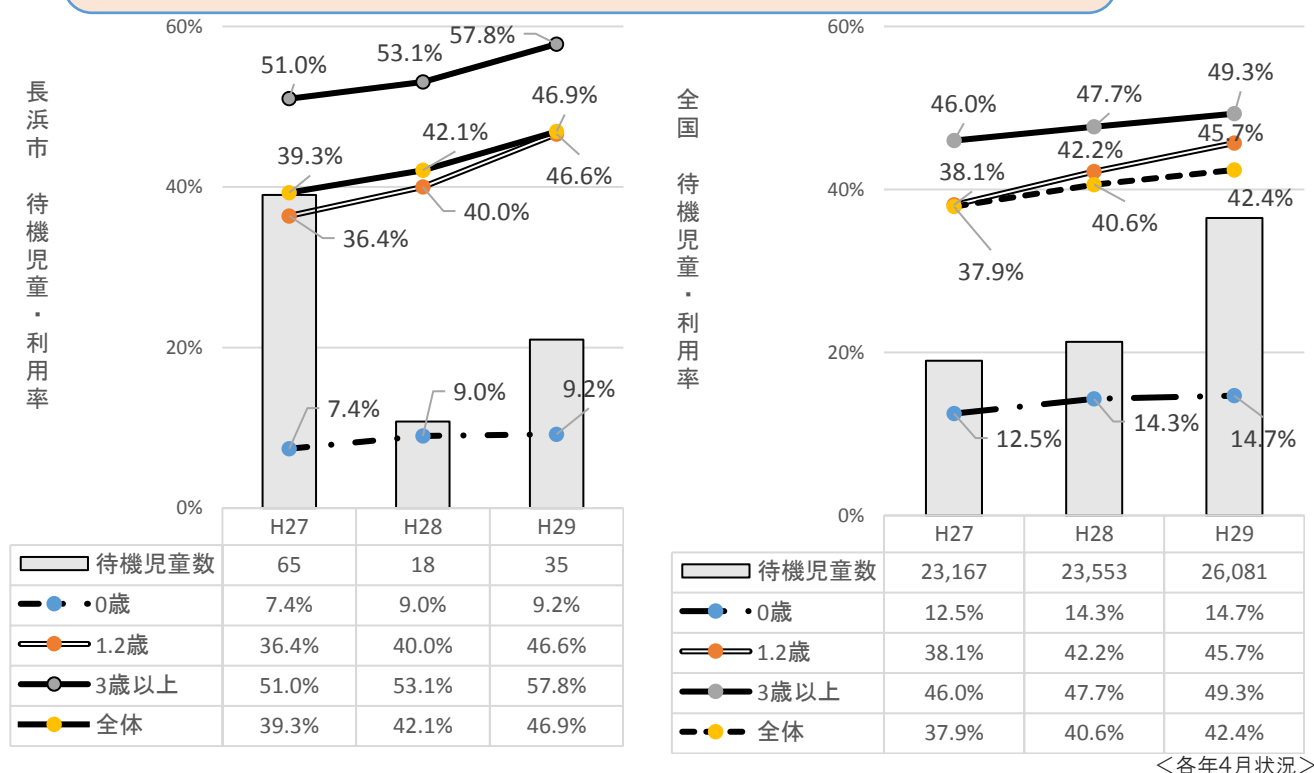
○子ども・子育て支援事業(乳幼児教育・保育)について

- ◎幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、教育の機会の保障を強固にしていくことが必要です。
- ◎出生人口は減少しているものの、家庭環境や子育て意識、働き方の多様化、女性の社会参画の拡大などにより、保育サービスを希望する家庭は増えていて、本市でも保育施設への入所を希望しても利用に至っていない待機状態の家庭があります。受入態勢を整えるためには、保育士等の人材の確保が課題となっています。

1 待機児童の状況について(保育施設)

【ポイント】

- ・市内の保育施設は、24施設、定員2,987人
- ・利用児童数は、2,843人(H29.4)
- ・待機児童数は、35人(前年18人)
- ・利用率の伸びが大きい。1・2歳児の増加が顕著。



①幼児期の教育・保育、地域の子育て支援の量の拡充および質の向上を進めることを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年度にスタートしました。

以降、本市では2施設の開所と既存施設の定員増により、377人分の保育量を拡大。(拡大量…全国68位:H29)

(施設数、定員 = H27・28…22か所、2,610人 → H29…24か所、2,987人)

(利用児童数 = H27…2,492人、H28…2,618人、H29…2,843人 (各年4月))

②待機児童数は、平成29年4月は35人(前年比+17人)。

年度途中の入所申込者もあわせ、随時、施設と調整しますが、待機児童は増加状態です。(H29.10…53人)

待機児童のうち3歳未満の児童数は33人で91%(全国89%)。

③定員充足率は95.7%(全国93.1%)。年度末には105%を超え、園によっては120%を超える見込です。

④児童人口に対する保育利用率は46.9%(全国42.4%)。

平成29年度の3歳児以上および1・2歳児の利用率とその伸びは、全国値よりも大きくなっています。

⑤児童人口は減少しているものの、利用児童数は増加。保育サービスの需要は引き続き高まると予測。

今後のニーズ量は5年で250人程度拡大、以後縮小と推測しますが、保育料無償化実現で上振れが想定されます。また、伴って保育士は60～80人の積み上げが必要と見込みます。

(参考1) 長浜市の乳幼児人口の状況 (各年4月、単位:人)

長浜市	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人口	124,695	123,335	122,310	121,532	120,595	119,748
0歳	1,104	1,010	1,041	1,006	946	893
1, 2歳	2,181	2,208	2,127	2,091	2,083	2,003
3-5歳	3,523	3,345	3,268	3,250	3,208	3,163

(参考2) 「幼稚園・保育所・認定こども園」入園・入所申込(10月時点)の状況 (単位:人)

保育所・認定長時部	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
H29 入所申込数	294	471	564	640	613	627	3,209
H30 入所申込数	310	447	580	670	686	627	3,320

幼稚園・認定短時部				3歳児	4歳児	5歳児	計
H29 4月入園児数				413	394	475	1,282
H30 入所申込数				357	400	372	1,129

2 待機児童の解消、保育基盤の充実のための本市の取組について

【①平成29年度の取組】

(1) 保育の受け皿を拡大するための保育施設を整備します

- 民間保育所整備支援事業
平成30年4月……2施設において40人の定員拡大(増築整備)
- 乳児保育事業「保育ルーム」の新設
平成29年10月……市立幼稚園舎を活用して乳児保育を開始
(南郷里幼稚園。30~40人の受入態勢)

(2) 保育の量の拡大を支える人材を確保します

※参考:市内保育従事者845人

- 保育士等奨学金返還支援事業の創設
保育士等に対する市独自の奨学金返還支援事業。最大96万円交付。
市内施設での平成30年度採用者から対象。
- 市幼児教育職(正規職)採用の拡大 (合格者数 H30:25人 H29:20人)
(応募者数 H30:62人 H29:45人)

(3) 保育事業者の取組を支援します (民間施設)

- 保育士等处遇改善の促進
国の支援給付制度に基づき、民間園に対し実施。
(月額6千円の基礎額に加え、キャリアに応じ月額5千円~4万円の賃金改善)
- 保育事業運営支援[市単]の継続
事業活動費および職員加配経費に対する補助
- 研修支援
市の研修機会の提供や巡回支援事業等
- 固定資産税等の軽減(わがまち特例)
企業主導型保育事業、地域型保育事業に対する特例率の設定

(4) 質の高い保育・教育の提供に努めます (市立園)

- 長浜市就学前教育カリキュラム、運動あそびの推進
- 加配職員、看護師・事務員等職員の配置の継続・拡大
- 研修プログラムの充実

【②これからの取組について】

今後の保育需要に対しては、民間施設の取組支援、各園の定員拡大・弾力運用、また認可外保育施設での受入などの対策を通じて、待機児童の解消を図ります。

そして、更なる方策に積極的に取り組むことにより、保育サービスの基盤充実に図り、待機児童ゼロの環境を整備します。

<実施を検討する事業等>

☆人材確保対策の促進、人材投資の強化を図ります

○保育士等人材確保の取組の総合的な推進

就職準備・再就職支援、宿舍借り上げ・居住支援、資格取得支援、

保育士の子どもの預かり支援、保育士への保育料補助等

○保育士の業務負担の軽減（働き方改革の推進）

保育関係事務のICT化、保育補助者・支援者雇上助成等

☆保育の受け皿の拡大、多様な保育の充実を進めます

○保育施設の定員拡大（市立園：児童受入のための職員配置の拡充）

○乳児保育、預かり保育、延長保育等の実施

☆地域の子ども子育て支援事業を強化します

○企業主導型保育事業の推進（地域枠拡充）

○認可外保育施設の運営支援、利用者支援の実施

○園開放（地域交流広場）事業、相談事業を通じた子育て支援

3 幼児教育の振興、子育て支援の充実

< 国 >

幼児教育の無償化については、平成26年度から段階的に進められてきました。「骨太の方針2017」では、人材投資の抜本強化として、「幼児教育・保育の早期無償化」は重点課題と確認され、このほど政府は、平成32(2020)年度までに3歳から5歳児の幼稚園・保育所費用の完全無償化と0歳から2歳児の保育所費用の無償化を推進するという方向を示しています。

検討内容としては、平成31(2019)年度は5歳児のみで、平成32(2020)年度からすべての項目を進めるということや、財源は全世代型社会保障の実現を念頭に、平成31(2019)年10月からの消費税増率に伴う税収や企業拠出金をあてていくこと、また、新たな社会保険方式（「こども保険」）のあり方についても含んでいる状況です。

政府は、「幼児教育・保育無償化」や「子育て安心プラン推進」を含む『人づくり革命』の取組として、2兆円規模の政策パッケージを平成29年12月に示すとしています。

<長浜市>

平成28年度から、幼稚園・保育所保育料について、国県の制度（所得制限・年齢条件）に関わらず、すべての第2子について半額、第3子以降を無償としました。